

～大地震への備えを目指し、供給する住宅のほぼ 100%を制震構造化～
制震構造の住宅着工数が累積 8 万棟を達成

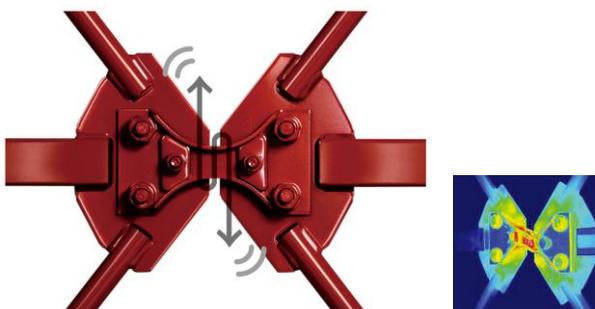
旭化成ホームズ株式会社(本社:東京都新宿区 代表取締役社長 池田英輔)は、同社の供給する住宅(戸建住宅・賃貸住宅とも)のほぼ 100%を制震構造とし、本年 8 月で累積 8 万棟の着工を達成しましたのでお知らせいたします。

当社では 2003 年に工業化住宅として初めて制震構造による国土交通大臣認定を取得し、2004 年には軽量鉄骨軸組工法の全商品に標準採用、2014 年には震動の吸収性に優れたオイルダンパーを組み込んだ制震装置「サイレス(SeiRReS)」を開発し、重量鉄骨システムラーメン構造の 3 階建て商品に標準採用(※1)しました。これにより、当社の供給する住宅は、すべてのお客様に対し大地震に対して安心をお届けする先進の制震構造の住まいを提供できる体制となりました。2015 年 1 月～7 月の受注実績では、2・3 階建てにおける戸建住宅の 99%、賃貸住宅(賃貸併用住宅を含む)の 95%が制震構造を採用しています。

(※1)一部のプラン・仕様・商品を除きます。

首都直下地震や南海トラフ地震などへの不安が高まる中、当社はこれからも、戸建住宅・賃貸住宅を問わずすべての建物について、建物が倒壊しない安全性能はもちろん、建物の損傷を最小限に抑え、修復性能を高めることが可能な「安心・安全な住まい」の提供に努めて参ります。

(ご参考)ヘーベルハウスの制震構造



軽量鉄骨軸組み工法に採用した極低降伏点鋼

地震時に応力が集中する部分に「極低降伏点鋼(ごくていこうふくてんこう)」という通常の鋼材に比べ極めて靱性(粘り強さ)に富む素材を使用した「制震デバイス」を採用。制震フレームの中心部に位置する極低降伏点鋼製の制震デバイスにより、建物にもたらされるエネルギーを効率的に吸収します。



重量鉄骨システムラーメン構造に採用したオイルダンパー

鋼製のパネルとオイルダンパーにより構成。地震の揺れがオイルダンパーに伝達され、内部に充填されているオイルの流動抵抗によって減衰力(ブレーキの力)が生まれ、地震の揺れを低減。揺れの激しさに応じて減衰力が強まり、大地震・中地震・小地震など様々な地震による建物の揺れに対して制震効果を発揮します。

※制震構造のほか、外壁に使用しているALCコンクリート「ヘーベル」の耐火性能と、地震による外壁の脱落や損傷を抑制する「ロッキング工法」などの技術があいまって、真に震災に強い住まいを実現します。

< 本件に関するお問合せ先 >

〒160-8345 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル

旭化成ホームズ株式会社 広報室

(電話)03-3344-7115 (FAX)03-3344-7050 (メール)j-koho@om.asahi-kasei.co.jp